



Vol.62
平成25年12月

佐倉そめい野緑地ニュース

発行人 佐倉染井野緑地協定運営委員会

平成25年度第3回の緑地ニュース(Vol.62)をお届けします。

今回のニュース内容は次の通りです。

1. 平成25年度樹木管理講習会の報告
2. 運営委員会各班からの報告

1. 樹木管理講習会の報告

先日9月29日(日)の大変良い天気の中、林農社、志津ガーデンの業者の皆様のご好意と皆様のご理解とご協力により、無事に樹木管理講習会を執り行うことができました。改めてお礼申し上げます。

講習会の内容は、志津ガーデン、林農社の2グループに分かれて以下の通りで実施されました。

- 1) 樹木の剪定・刈込みの実技および説明
- 2) 肥料の仕込みと施肥の仕方の実技及び説明
- 3) 薬剤散布・薬の効果的な実施方法
- 4) 質問コーナー

さて、参加いただきました皆様から感想文を寄稿していただきましたので紹介させていただきます。

◆ 志津ガーデンさんの説明を受けて

- ・ 剪定の仕方について。

実施時期や要領を教わった。枝の密集しやすい木は強剪定をし、十分な太陽光線を当て通風採光が重要である。また、葉が密集していると病気や虫が付きやすいという説明を受けた。枝を切るとき、たもとの枝に葉や枝を残す。切り口はできる限り保護剤を塗ることなど。

- ・ 施肥の仕方について。

時期と方法について実演していただいた。芽だし肥、お礼肥について教わった。緩効肥料と即効肥料の使い分け、緩効肥料は少し埋め込むなど。表面に露出していると日が経つと腐ってカビや臭いが発生する。即効肥料は地面にばら撒いてもいいが、葉の上に残らないようにする。残ると葉焼けを起こす。場所は、幹幅の5倍から7倍の所にできれば円形に少し掘って埋める。毛根に直接当たらないようにするなど。

・ 感想

「木の世話をするのは、わが子のように」との言葉が印象に残った。木を見るとき、葉の色や幹のツヤを観察すると健康であるかどうかある程度判断できる。剪定や刈込み、施肥をした後、木の様子を見てあげることが大事である。余談ですが、事業者の剪定ばさみの手際の良さ、手さばきの良さに感服しプロを感じた。

- ◆ 今回初めて参加させていただきました。切る枝の見分け方や思っていた以上に剪定してよいことを学びました。実演していただいた事で、とてもわかりやすく今までの悩みが解消され、我が家の剪定が楽しみになりました。他にも強剪定していい時期と、いけない時期、害虫駆除や芝生の間に見える雑草の最も効果的な除去の仕方など、解りやすく予想以上の詳しい説明でとても参考になりました。
- ◆ 染井野の緑の多い景観に惹かれて引っ越してきましたが、庭の手入れ等、草抜き以外したことが殆どない私にとって、とてもよい刺激を受ける講習会となりました。業者のかたの樹木に対する愛情を感じ、また住民の皆様がいろいろな樹木の育成を楽しんでおられるのだなと感じることができました。講習会で教えていただいた剪定や追肥など、技術的なことはこれから学習と実践を重ねなければならぬと痛感しましたが、いっそうの趣味を持たれたことが講習会の何よりの収穫でした。町内を散歩するときにも前より樹木が気にかかるようになり、図書館にいくとガーデニングの本が気になるようになり、前より少しですが、視野が広がったような気がします。これからも自分なりのペースで楽しんで庭の手入れを楽しめればと思います。





2. 各班からの活動報告

1) 共同管理班(シンボルツリー・生垣・セットバックの樹種変更・植替え補助金の申請)

特にございません。

2) 新建築協定班

新建築協定を基に事前確認申請に対応しています。1丁目を中心に新築物件が多数着工しています。増改築では塗替え申請が主な内容です。建築協定会員の皆様、増改築の際は建築協定運営委員会よりお届けした「保存版」をご一読いただき、事前確認申請をよろしくお願いいたします。また、皆様のお役に立つような「セミナー」の開催なども検討してまいります。詳細がまとまりましたらお知らせいたします。

3) 総務班

1月より次期役員候補者の選出作業に入ります。該当される会員のかたには現ブロック役員よりご連絡をさせていただきますのでご協力をお願いします。

4) 共同管理班

共同管理の部分の林農社、志津ガーデンとの剪定・刈込・薬剤散布について

《現地点での実績について》

・剪定・刈込 :5/13-25 6/17-7/20 10/15-10/31 11/25-12/14

・薬剤散布 :5/28-28 7/22-23 9/24-9/27

《今後の予定について》

・剪定・刈込 :11/18-12/7 3/3-15

・薬剤散布 :なし

5) 会計班

特にございません。

6) 広報班

・平成25年度は、年4回の緑地ニュース発行予定。

・第1回(Vol60)は6月、第2回(Vol61)は9月、第3回(Vol62)は12月発行済。

・タイムリーな話題と、委員会の活動状況報告を行います。

以上